

40名もの職員削減! 雇用も患者も守れない

東金病院再編案

病床運用案(病床数)

科目	18年度 後期	19年度
内科	27	42
小児科	5	4
外科	8	8
整形外科	23	23
産婦人科	5	0
人工透析科	2	3
入院患者総数	70	80

*18年度当初110床、
17年度当初190床

組織体制案(職員数)

職種	18年度 当初	18年度 後期	19年度
医師	13	12	10
看護師・ 准看護師	93	80	89
薬剤師	5	4	4
検査技師	5	4	4
放射線技師	6	4	4
理学療法士	7	3	3
栄養士	3	1	1
臨床工学技士	1	1	1
県職事務	11	9	9
単労(総)	14	?	?
職員総数	158	118	125

*現在、現業職員(単労)は具体的な提案はない。

再編の強行では

職員との信頼関係の崩壊です

職員を二十五・四十名も削減する東金病院再編案が強行されようとしています。

この間の病院局交渉では「再編は決定ではない。病院に検討してもらっている段階だ」と回答しています。にもかかわらず、平井東金病院長は、「局長の指示事項だ」と強引に進めています。

職員からは、根拠も示さず一方的な削減提示に「とにかく削減ありき」「やる

気をなくす」「職員の雇用・労働条件も患者も守れない」と怒りと不安の聲がますます高まっています。これでは院長がいう「職員の信頼関係の構築」どころか信頼関係の崩壊です。

組合は、職員の皆さんの声を代表して再編案の強行を許さず撤回を求めて、明日・二十日に病院長、二十三日に病院局と交渉します。「再編案の撤回」の声を大きくし、多くの職員が交渉に参加しましょう。

病院長と県病院局との 交渉に多くの参加を

院長交渉

10月20日(金)6時
東金病院会議室

病院局交渉

10月23日(月)6時
県教育会館202号室

東金病院再編案の撤回の声大きく

「職員削減だけが目的か」

・職員の声聞いて・

- 医師不足の県立病院が成東病院に医師を出すのはおかしい。
- 地域では産婦人科の廃止が相次いでいる。県立病院が産科を廃止して県の役割が果たせるのか。成東病院に集約化より東金病院を充実すべきだ。
- 検査科は職員も委託職員も減らす。それで過重労働にもならず、検査の安全も大丈夫と言えるのか。
- 県立病院のリハビリ科のマツサージ師は、他に佐原と循環器病院しかない。通えなければヤメロということか。患者との信頼関係も心配だ。
- 理由も根拠も示さず、いきなり「3名削減だ」と言われた。これではやる気をなくす。何が何でも職員を削減することが目的で削減ありきだ。労働条件が守られない限り白紙撤回すべきだ。

組合に加入し、雇用と医療を守ろう

加入申込書

私は、千葉県職員労働組合に加入します。

2006年 月 日

千葉県職員労働組合中央執行委員長 様

職場名 東金病院

氏名

職員コード